

今考える「終活」について

この時期に来てメディアでは、新たに「終活問題」を大きく取り上げています。

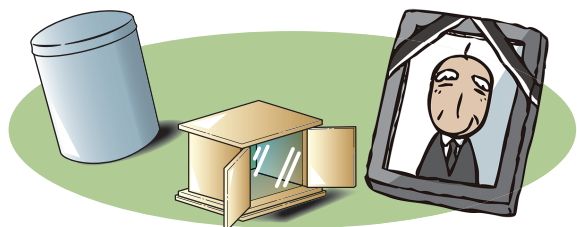
しかし、それは以前からの問題と何ら変わることない内容ばかりです。

また、終活に対する質問やお問い合わせも増えてきたのも事実です。

なぜ今「終活」なのかと言えば、それは皆さんが実際に「葬儀」「法要」「お墓」「仏壇」「遺言・相続」に直面しないと真剣に考えようとしなからたと思うのです。

◆代表的な問題点

- 【葬儀】…「葬儀代金が高かった」という「葬儀による後悔」。
- 【法要】…「法要の段取りがわからない」という不守。
- 【お墓】…「お墓を承継する子供がいない」という不守や悩み。
- 【仏壇】…「仏壇について何もわからない」という疑問や悩み。
- 【遺言・相続】…「遺言などまだ早いし、財産もないから問題ないし必要ない」という楽観的な考え方。



◆その他の問題点

- 【葬儀】
 - ・どうすれば希望通りの葬儀ができる?
 - ・親族への対応を十分にするには?
 - ・納得いく遺影写真はどうすれば?
- 【法要】
 - ・どこまで連絡するべきなのか?
 - ・どの法要までをするべきなのか?

【お墓】

- ・仏壇にあるお骨はどうすれば?
- ・お墓が高額で建立できない場合は?
- ・遠方にあるお墓はどうするべきか?
- ・お墓はいつまでに建立するべきか?

【仏壇】

- ・宗教の違いで仏壇をどうするべきか?
- ・やはり仏壇は購入するべきなのか?

【遺言・相続】

- ・遺言書はどうやって書けばいいのか?
- ・遺言書をかくタイミングは?
- ・そもそも遺言書は必要なのか?
- ・相続する財産はどこまでなのか?
- ・相続の対象は誰なのか?

など、皆さんいろいろな悩みをお持ちですね。

しかし、これらの問題について解決することが「終活」です。

問題や悩みの解決策とは…

ではどうすればこれらの悩みを解決することができるのでしょうか。

それは

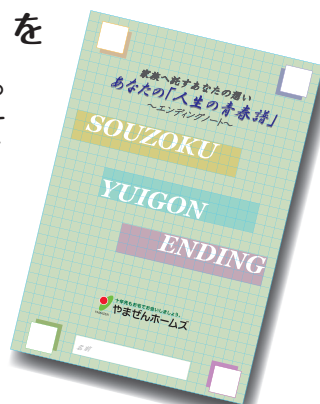
【いかに生前に対応しておくか】

ということです。「そんなことは今までのメディアからの情報で十分理解している」ことでしょう。

しかし、残念ながらそれが出来ていないからこそまだまだ「葬儀で後悔」される人がいる……というのが現実なのです。

★具体的な解決策…

- ①エンディングノートの作成。
- ②「生前見積もり」を複数社からとる。
- ③「終活」について家族全員で「真剣」に話し合う。
- ④正式な遺言書を作成する。



オリジナル
「エンディングノート」
プレゼントします!

本文中で紹介しました「エンディングノート『あなたの人生の青春譜』」をご希望の方に【抽選で30名の方】にプレゼントいたします。是非この機会に「エンディングノート」への意識を高めていただければと思います。